

東京藝術大学 大学院美術研究科 令和7年度 博士審査展 展示作品一覧

[会期] 12月11日(木)～21日(日) 10:00～17:00(入場は16:30まで)

[展示場所]

大学美術館

3階 展示室3 : 日本画・油画・デザイン・建築・先端芸術表現・グローバルアートプラクティス
展示室4 : 先端芸術表現
3階 バルコニー : 工芸
1階 屋外 : 油画
地下2階 展示室1 : 油画・工芸・先端芸術表現
展示室2 : 文化財保存学

陳列館

2階 油画・先端芸術表現
1階 油画・デザイン

日本画

杉本 純久

大学美術館 3F
展示室3

小石川町4丁目 - 信号待ち
柏の葉公園入口 - 信号待ち
松ヶ崎 - 信号待ち
豊四季駅入口 - 信号待ち
正運寺 - 信号待ち
信号待ち
マクドナルド藤枝岡出山店 - 日本画
洗面所の静物 - 半分日本画

油 画・壁 画

伊藤 藍

大学美術館 B1
展示室1

白斑

油 画・技法材料

川端 健太

大学美術館 3F
展示室3

document/skin

潘 雯菲 簪

大学美術館 3F
展示室3

暦

工 芸・陶 芸

常 露露

大学美術館 3F
バルコニー

Flow I
Flow II
Flow III
Flow IV

小松 実紀

大学美術館 B1
展示室1

にんげん

工 芸・素材造形

POSTOVA
VENTUROVA
KRISTYNA

大学美術館 3F
バルコニー

感情の在り処
存在の果て
Feeling Fragile
Carmine White
異なる視点から
ビールグラス
Carafe & cups
共にありながら離れて
鉢

油 画・版 画

舒 顔

陳列館 1F

What Makes an "I"?

中島 摩耶

陳列館 2F

あれらのはなし

諏訪部 佐代子

美術館前広場

Uncertain Contours of Images

デザイン

李 光宗

陳列館 1F
美術館外テラス

氣-形而上下 - 像
氣-形而上下 - 対
氣-形而上下 - 界

CAI QIN

大学美術館 3F
展示室3

木々にひかれるとき

建築

松岡 正明

大学美術館 3F
展示室3

連続的な多数の視点場からの形態の
創生

先端芸術表現

島田 清夏

大学美術館 3F
展示室4

here/there

藤田 紅於

大学美術館 3F
展示室3

緑、泉、丘、光

中川 陽介

大学美術館 3F
展示室4

The Plasticity of Time

顔面装飾具 - アインシュタイン
想像力は知識よりも重要だ

顔面装飾具 - 愛と勇気が友達
自己犠牲も厭わない愛を示す

顔面装飾具 - ベール
謙虚さという強さを持つ

顔面装飾具 - オタク
好きなものは好きだと胸を張って叫ぶ

顔面装飾具 - おたふく
周りを笑顔にする存在に

顔面装飾具 - 海賊王
道を切り拓く姿を背中で示す

顔面装飾具 - やまんばメイク
迎合しない自分の美学を貫く

顔面装飾具 - リーゼント
社会への反骨精神を忘れない

顔面装飾具 - 聞か猿
時には、耳を塞いで心の声に従う

顔面装飾具 - 無題
あなたを生きる

陳列館 2F

平野 真美

大学美術館 B1
展示室1

ランド・ストランディング

蘇生するユニコーン

グローバルアートプラクティス

LEE JEUNNE

大学美術館 3F
展示室3

ポストジウム

文化財保存学・保存修復日本画

張 杉文

大学美術館 B1
展示室2

元興寺蔵重要文化財《板絵智光曼荼羅》の想定復元模写

元興寺蔵重要文化財《板絵智光曼荼羅》の想定復元模写(図像復元)

徳門 あいみ

大学美術館 B1
展示室2

《尚恭浦添王子朝良公御後絵》(原図)
の想定復元模写

《尚恭浦添王子朝良公御後絵》(原図)
の上げ写し

阪野 智啓

大学美術館 B1
展示室2

旧里見家本「浜松図屏風」の想定復元
模写(右隻)

旧里見家本「浜松図屏風」の想定復元
模写(左隻)

文化財保存学・保存修復彫刻

王 工一

大学美術館 B1
展示室2

東京藝術大学所蔵 肥後別当慶作
木造毘沙門天立像 復元模刻制作

金 路

大学美術館 B1
展示室2

山形県本山慈恩寺十二神将像のうち
寅神将像模刻制作

山形県本山慈恩寺十二神将像のうち
卯神将像模刻制作

山形県本山慈恩寺十二神将像のうち
寅神将像 1/2縮尺構造模型

文化財保存学・保存修復工芸

藤井 茉弥

大学美術館 B1
展示室2

藍地餅花手大皿(再現)

テストピース

文化財保存学・保存科学

奥島 希子

大学美術館 B1
展示室2

染着したインジゴの分解過程について
の研究

寺島 海

大学美術館 B1
展示室2

近世日本におけるコバルトガラス顔料
「花絹青」/「スマルト」の利用と流通—
史資料と科学分析からみる受容の実
態